Ⅱ　平成２３年度 壱岐保健所 業務計画

課 班 名	企画調整課

事　業　名	1）　健康危機管理業務

（管内の現状及び課題）

1　当所の「新型インフルエンザ対策マニュアル」は、平成１９年の策定後、改訂がなされていない。この間、国は平成２１年３月に行動計画を、県においても地方機関再編を踏まえて国に併せて平成２２年１２月に県の行動計画第三版を策定している。さらに、国においては改訂を予定している。このため、当所においても早急に「新型インフルエンザ対策マニュアル」を改訂する必要がある。

2　昨年度後半から全国的に高病原性鳥インフルエンザも発生しており、国・県の防疫対応等の変更があり、これを踏まえた対応も必要である。

（対　策）

1　新型インフルエンザ発生時に、保健所職員が迅速、的確に対応するため「新型インフルエンザ対策マニュアル」を改訂するとともに、各種訓練を実施する。

2　高病原性鳥インフルエンザ発生時に、保健所職員が迅速、的確に対応するため「高病原性鳥インフルエンザ対応マニュアル」を改訂するとともに、保健所職員の役割をきちんと果たせるよう研修、訓練を実施する。

（本年度の目標）

1　「新型インフルエンザ対策マニュアル」を改訂する。

2　「高病原性鳥インフルエンザ対応マニュアル」を改訂する。

3　新型インフルエンザ、高病原性鳥インフルエンザ発生に備えた各種訓練を実施する。

（本年度の事業内容）

1　「新型インフルエンザ対策マニュアル」の改訂

2　「高病原性鳥インフルエンザ対応マニュアル」の改訂

3　新型インフルエンザ及び高病原性鳥インフルエンザ対応のための防護服着脱訓練の実施

4　新型インフルエンザ対応のための患者搬送訓練の実施

業　務　名	２）　地域医療関係業務

（管内の現状及び課題）

1　医療連携体制の構築

（１）壱岐地域保健医療対策協議会：　平成２２年度は年２回開催

①次期長崎県医療計画について、壱岐地域の提案を協議し意見が反映されるよう提出した。

②次期長崎県医療計画の中で、脳卒中の継続的な治療とリハビリテーションの切れ目なく行われる体制づくりの構築等特徴ある地域の取り組みについて協議した。

③壱岐地域保健医療計画（平成１８年度から２２年度までの５カ年計画）について、関係機関から情報提供を得て評価検証を行った。

（２）脳卒中及び在宅医療に関する地域医療連携専門部会の開催：年１回

次期長崎県医療計画（２３年度～５年間）の策定について、地域保健医療対策協議会で審議し次期医療計画の「特徴ある地域の取り組み」の中の「今後の方向性について」を協議し提出した。

（３）脳卒中医療に関する地域医療専門部会について

昨年度の専門部会で意見のあった住民に対する脳卒中症状の啓発のため、住民向けのチラシを作成。医師会、歯科医師会等関係機関へ配布し、保健所ホームページにも掲載した。

2　救急医療

（１）島内ＡＥＤ設置状況　７３台（医療政策課調）H22年8月末現在

（２）壱岐市消防本部の協力を得て、壱岐地区県職員を対象に心肺蘇生(ＡＥＤ含む)講習会を実施した。実施回数２回　受講者２８名（H22年度）

3　医療安全の推進

（１）平成１５年から保健所に「壱岐地域医療安全相談センター」が設置され、患者・家族等からの医療安全相談に対応している。（平成２２年度　医療安全相談件数　２件）

（２）壱岐地域医療安全相談センター連絡調整会議を１回開催した。

（３）医療従事者に対する医療安全に関する研修の開催を目標としたが、個別相談事例が乏しく、開催するに至らなかった。

（対策及び本年度の目標）

1　長崎県医療計画（平成２３年～２６年）の初年度となるため、脳卒中の継続的な治療とリハビリテーションの切れ目なく行われる体制づくりの構築等特徴ある壱岐地域における計画の評価・検証方法等について協議する。また「在宅医療に関する地域医療連携専門部会」において、認知症サポート医の配置とサポート医業務に対する支援体制を協議していく。

2　ＡＥＤ（自動体外式除細動器）の知識及び使用方法の周知を図る。

3　壱岐地域医療安全相談センター連絡調整会議を開催し、医療安全の推進を図る。

（本年度の主な事業内容と実施方針）

1　長崎県医療計画（平成２３～２６年）の初年度となるため、脳卒中の継続的な治療とリハビリテーションの切れ目なく行われる体制づくりの構築等特徴ある壱岐地域における計画の評価･検証方法等について「壱岐地域保健医療対策協議会」と「脳卒中及に関する地域医療連携専門部会」を各１回開催し協議する。また「在宅医療に関する地域医療連携専門部会」において、認知症サポート医の配置とサポート医業務に対する支援体制を協議していく。

2　壱岐地区県職員を対象に心肺蘇生（ＡＥＤ含む）講習会（平成１８度より毎年開催）を実施する。

3　引き続き医療安全相談窓口を設置し相談に対応する。

業　務　名	３）　医療機関立ち入り検査業務

（管内の現状及び課題）

1　医療法第２５条第１項の規定に基づき、医療機関が法令に定める人員及び構造設備を有し、適正な管理を行っているかについて、検査及び指導を実施する。

平成２２年度実績	管内医療機関数	立入検査数
病院	７施設中	７施設（　８回）を実施　＊臨時立入検査１回
診療所	２５施設中	８施設（　８回）を実施（診療所３、歯科診療所５）
合計	３２施設中	１５施設（１６回）を実施

病院立入検査については、長崎県内で統一したチェックリストが策定されており、効率的かつ地域差のない立入検査内容の充実が図られている。

2　病院については毎年実施し、診療所及び歯科診療所は３年毎に検査を実施している。

（対策及び本年度の目標）

1　病院（７施設）、診療所（４施設）、歯科診療所（４施設）の計１５施設について、立入検査及び指導を行う。

2　無資格者による医療行為の防止及び院内感染防止に留意し、実態に即した把握指導を行う。

3　医薬品の取扱い（劇薬等の保管・管理）状況を把握し、管理の徹底を指導する。

（本年度の主な事業内容と実施方針）

1　県が定める重点項目を中心に、検査指導を行う。

	管内医療機関数	（立入検査予定数）	Ｈ２３.４現在
病院	７	（　７）	
診療所	１４	（　４）	
歯科診療所	１０	（　４）	
合計	３１	（　１５）	

2　特に医療従事者の確保と無資格者による医療行為の防止及び院内感染防止に留意し、実態に即した把握指導を行う。

3　医薬品の取扱い（劇薬等の保管・管理）状況を把握し、管理の徹底を指導する。

業　務　名	４）　研修業務

（管内の現状及び課題）

1　会議・研修等

（１）壱岐市との保健福祉等担当者会議　（Ｈ２２実績：1回）

（２）地域保健従事者研修会（Ｈ２２実績：研修会開催１７回　受講者数　延べ４６５名）
地域保健関係者の資質向上のため、各事業担当において研修を実施した。引き続き、必要な研修の機会を提供することが必要である。

（３）壱岐市養護教諭研修会
（Ｈ２２実績：養護教諭２８名、教育委員会３名、壱岐市健康保健課２名）

2　学生等研修受入状況(Ｈ２２実績)

（１）保健師	長崎県立大学シーボルト校看護栄養学部看護学科（総合実習）	１５名	８日間
（２）栄養士	県立シーボルト大学看護栄養学部	５名	５日間
	長崎国際大学	２名	１日間

（対策及び本年度の目標）

1　地域の実情に対応した地域保健福祉サービスが円滑に推進される事を目的に、壱岐市と保健所等関係機関が相互の業務を理解し、連携が深められるよう会議を行う。また、関係職員の資質向上のために必要な研修を実施する。

2　将来、地域医療・看護、公衆衛生の分野に関わる学生等の育成を行う。

（本年度の主な事業内容と実施方針）

1　市職員等対象の会議及び研修の実施。

（１）保健・衛生・環境担当課長及び担当者会議（年各１回）

（２）地域保健関係職員研修会
地域の要望に応じ開催する。

2　学生等実習受け入れ
要望に応じて受け入れを行う。

業　務　名	5）　情報管理業務

（管内の現状及び課題）

1　保健統計調査事業（統計調査・分析・地域診断）
人口動態統計調査をはじめとした地域保健に係わる統計調査を実施しているが、一島一市の状況であるため、結果分析に苦慮している。

2　事業概要の作成
保健所が行う事業及び統計資料を関係機関へ周知するとともに、まとめたデーターを経年的に見ることができるよう毎年度作成している。ペーパーレス化のため配布せずホームページ上からアクセスできるようにしている。

3　ホームページの管理
当保健所の開設したホームページをインターネットに掲載することにより、当所における事業の紹介や壱岐管内の保健・医療・環境・衛生等に関する情報を掲載し、開かれた保健所をめざしている。

（対策及び本年度の目標）

1　保健統計調査事業（統計調査・分析・地域診断）
各種統計調査の調査結果を整理・分析し、保健医療業務の基礎となる資料を作成する。

2　事業概要の作成
保健所が行う事業及び統計資料を関係機関へ周知するとともに、まとめたデーターを経年的に見ることができるよう毎年度作成しホームページ上で閲覧可能にする。

3　ホームページの管理
ホームページの更新については、必要に応じて随時行い情報管理の徹底を図る。

（本年度の主な事業内容と実施方針）

1　保健統計調査事業（統計調査・分析・地域診断）
各種統計調査の調査結果を整理・分析し、保健医療業務の基礎となる資料を作成する。

2　事業概要の作成
保健所事業及び統計資料をまとめ事業概要を作成しホームページ上に掲載する。

3　ホームページの管理
トピックス的な話題をタイムリーに掲載できるように検討する。